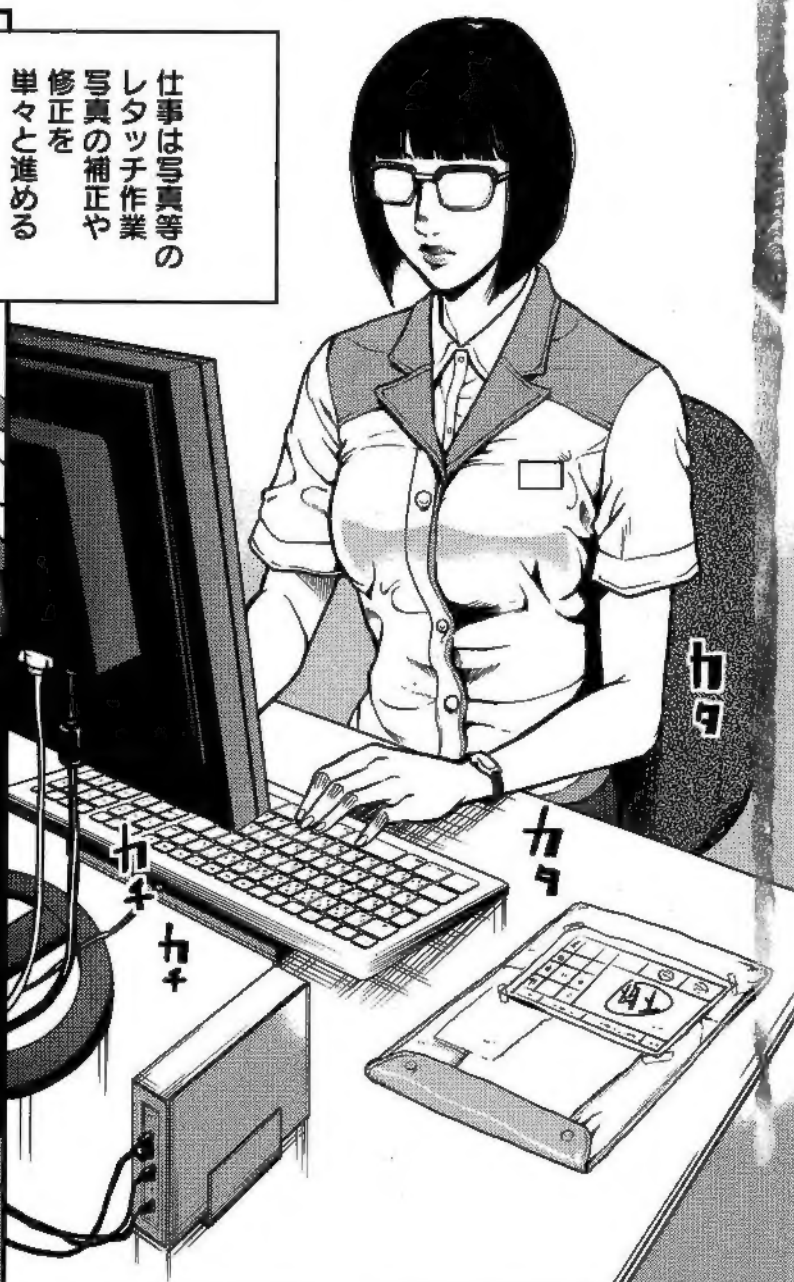
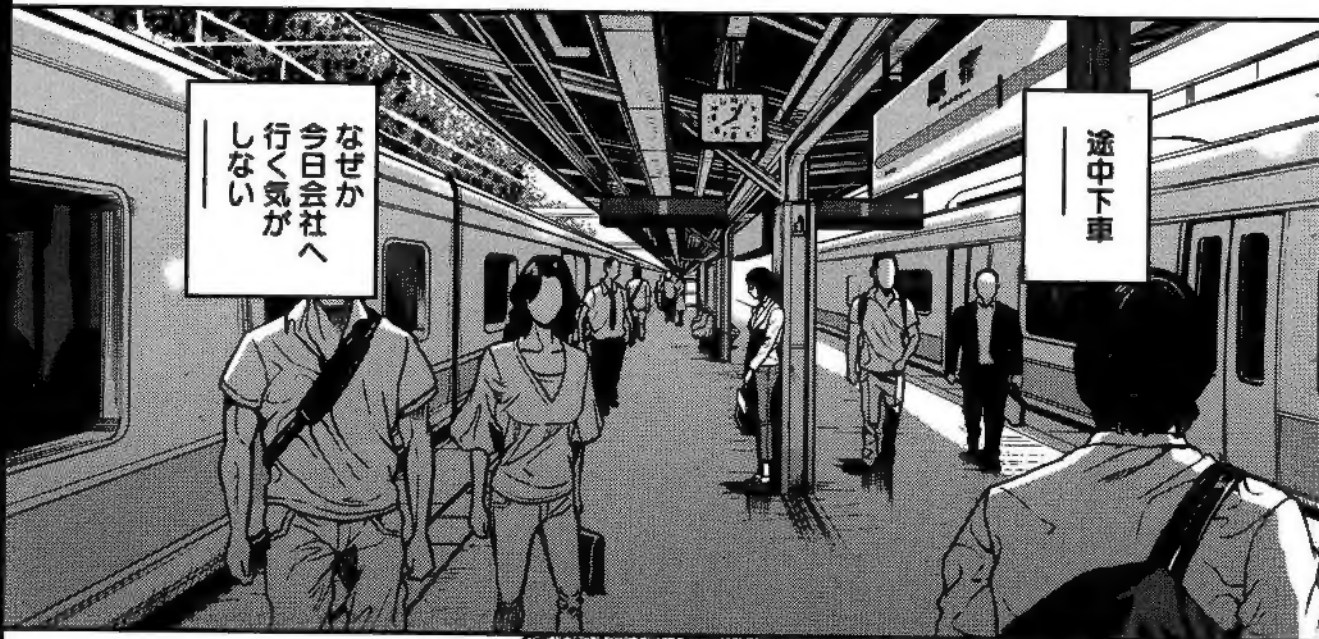
はあぁっ
は・おっ
たべ・こーじ降臨!!!
君は女の悦びを知らなすぎるようだね
パンッ
んくぅっ
ぁあ、
パンッ
ダメぇっ
私じゃない
――
これは私なんかじゃ
――ない――
OLピンキーライフ
OL Pinky Life
私は
ただの普通のOL

本当のキミを見せてくれっ
ハッ
はあっ
くはあっ
男性もセックスも興味がない
はあっ
ただのOLなのっ――

びくん
はあぁあっ
本当の自分——
びくん
ああっ
これは別の自分——

超BIG新連載スタート!!!
女はふたつの顔を持つ!!
OLピンキーライフ
OL Pinky Life
第1話
ピザッツグループ初登場!!
たべ・こーじ
PRESENTED BY TABE Koji

いつもの朝
――
仕事が始まり
昼休み―仕事
――そして退社
仕事は写真等の
レタッチ作業
写真の補正や
修正を
単々と進める
カタ
カタ
カチッ
カチ
カチ
私はこのカタに
ハマった一日が
嫌いではない
――
むしろ
落ちつく

まだ終わんないの？
つかさぁ〜？
7時から合コン
でしょぉ〜っ
この赤字
マジ最悪なんだけどっ
チョ〜ムカツク
また
地味メガネに
頼めっつうのっ
ひそ
ひそ
ニ
そっかっ
相原さぁ〜ん
私今日定時だからぁ
下版引きついで
くんなぁ〜い？
わかりました
また
押しつけてるしぃ
〜〜〜っ
なにそれぇ〜っ
私がイジメてる
みたいじゃ〜んっ
マジ 地味メガネ
残業好きだよねぇ
〜っ
いつもの事
周りの声は常に
遮断している
残業は静かで
いい
マンションでも
買うってやつ？
寒〜っ

途中下車――

なぜか今日会社へ行く気がしない――

地味な反抗――
たまに起こる衝動――

でも会社には連絡した――
体調不良って――

平日の朝の
繁華街——
雑音がなくて
ここちいい
——
繁華街は
私には無縁の
場所
この時
までは
——
あっ！
お姉さんっ
ちょっと
待ってっ！
ちょっとだけっ！

一瞬
いいかなっ！
話だけでも
聞いてっ
お願いっ!!

スタ
スタ
ちょっ！
お姉さん
怪しい者じゃ
ないからっ！
本当っ！

ピタ！

怪しいので
警察に通報
させていただきますっ
キッ

オレ一人で アパレル屋やっててね 正直ビンボーっ

今日モデルが とんじゃって まいったよっ

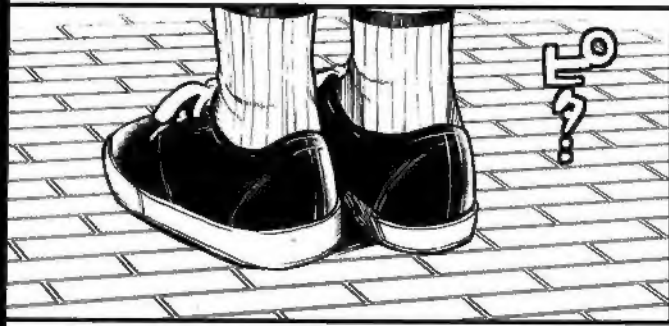
あの… まだあなたの事は 信用しませんから
急で ごめんね

でも オレのウデは けっこう評判 いいんだぜっ
君のような 素敵な素材は 久々だよ

自分では 気がついてない ようだけど ―

君は ―

美しい ―

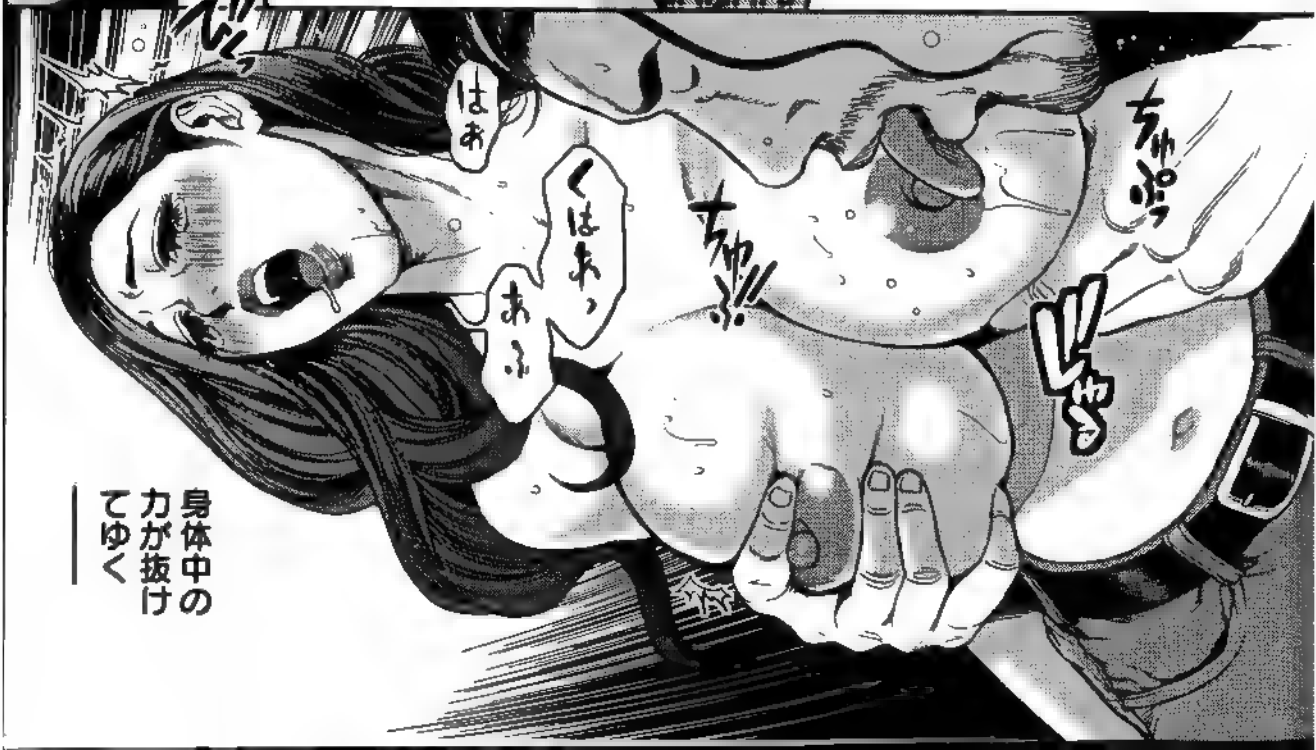
ドキッ

かっ から
かわないで
くださいいっ!!
ガタッ
ウソじゃないよ
何百人もモデル
見てきたんだぜっ!
かちゃ…
まかせて
くれないか?
オレに
――
なぜこの男に
ついていったのか
自分もわからない
――
冒険心
――
人にかまって
もらいたかった
――いえ
私にはそんな心は
ない――
さぁ
目を
あけて……

はずだった——
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
これが——
ドクン
ドクン
ドクン
私——？
ドクン

わかっただろう？
君は美しいいんだよ
ドクン
ドクン
いや…
ドクン
!
ちゅぷ
や
やめてくださいっ!!
か
帰らせていただきますっ!!
ガタッ
ガシッ

ぶる
君のような逸材を逃がしてたまるかっ!
は…
や やめて…くださいっ!!
ぶる
こんなに抑えきれない気持ちは初めてだ……
ぶる…
やめて
くにゅ
ピクン
いやあっ!
ピク
ぴく
ぴくっ
ちゃぷっ
はっ
やめてえっ いやあっ
びくん

にゅっ
逃げたい
逃げたいのに
——
ぷるるんっ
ビクン
いやっ
ぴく
ぴくん
くにっ
はふ
身体中が
ヤケドするくらいっ
——熱い
ちゅぷっ
じゅる
くはあっ
はぁ
あふ
びくっ
身体中の
力が抜けてゆく
——

もも
もう
やめて……
イヤがる
キミも
美しいよ……
ファー
はあっ
だが それは
本当のキミじゃない
はぅぅ
グニィ
身体は
正直な
ようだね
フフ
ちちがう
私は……
こんな——
する…
いや いやっ
こんな……
はあっ
はひっ

ダメぇ
ダメっ　いやぁ
はぁあんっ
はっ
はぁ
はぁ
はっ
恥ずかしがる事はない　今の君なら素直になれるはずさ
お願い
熱いの
身体が
おさまらないの
だから
この身体を
早く
直して

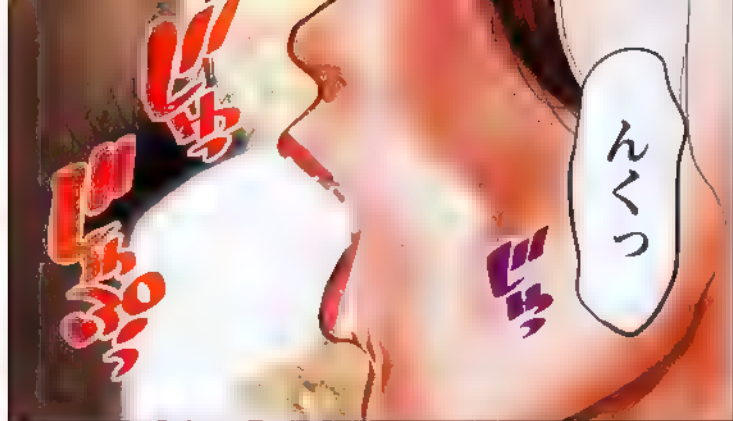
ぐちゅ
はぁ、
今の私は私であって私じゃないっ——
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
はっ
んくっ
はぁ
私はこんな事を望まない——
男もそれを望むはずがない——
ブチュッ
ブチュッ

はあっ
でも今の私は男に求められ
感じている――
たとえダマされてるとしても――
ヌプッ
ヌプッ
パンッ
ハッ
ぐぷっ
パーンッ
パンッ
はあああはふっ
ぐぷっ

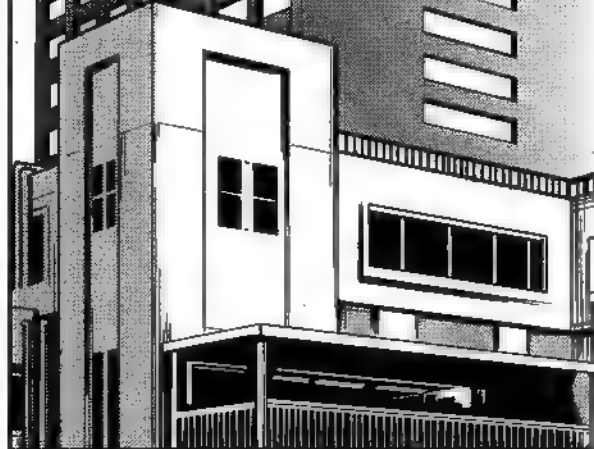
これが本当の私？
ちがう

鏡の私は
別の私――
私じゃない

私はただのOL――

◆つづく◆　第2話は12/27発売号に掲載予定!!

OLピンキーライフ
んくっ
はぁあっ
くふっ
もう
ガマンしなくても
いいんだよっ
あふうっ
大反響!!だべ・こーじ第2話!!!

はああ
にゅっ
くにっ
身体が熱いのっ
お願い私の身体を——鎮めてぇっ
本当の君を知りたい
オレのメイクで君を引き出したい

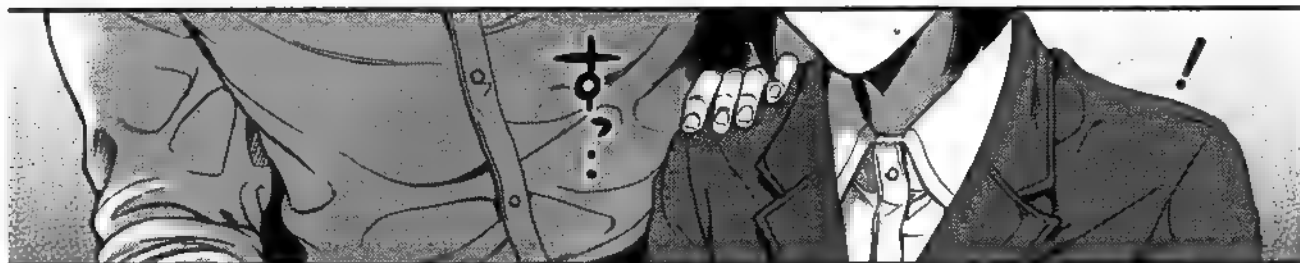
もっと本当の君を
見せてくれっ!!
あくうっ
あはあっ
本当の私って…

大人気御礼巻頭カラー!!!
女は華麗に変身する!!
OLピンキーライフ
O.L Pinky Life
第2話
たべ・こーじ
PRESENTED BY TABE KOJI

いつもの職場——
カチッ
カチッ
いつもの一日がはじまる
カタッ
先日の事は忘れたつもりだった——
あの日以来周りの雑音が入って来てしまった

来たよっ！
営業の
桐谷さんっ！
ウソっ！
どこ
どこっ
はぁ～
やっぱイケメン
だわっ♡
きゃ～っ　こっち
来た来たっ！
あの　相原さん？
赤字の問い合わせ
なんですが
はいっ
くそっ
地味メガネ
かよっ
先方に
問い合わせたん
ですが
肌はOKで
ここを
シャープに
ドキッ
スッ…

どうして?
男なんか
全く意識した事
なかったのに──
ドクン
ドクン
ドクン
すごく
ドキドキ
して──
あの日の事が
よみがえって
ドクン
ドクン
ドクン
別の私が
さわぎはじめて
──
ドクン
いけない
──
いけないいわっ

でも——
我慢出来なくて——
はっ
はふっ
くにゅっ
はあっ
どうしてこんな身体になってしまったの
ぴくん
くちゅっ
私の日常が壊れる——
くちゅ
ちゅぷっ
はあ

あの人が
そう――
はっ
はっ
はっ
はあ
全部
あの男のせいっ
ビクッ
ぴくんっ
ぴゅっ
ぴゅるる
くちゅ
ぴちゅ
ぴちゅ
カラン…
うれしいよっ

もう来てもらえないんじゃないかって思ってたよっ!
単刀直入に言わせていただきますっ
私のいつもの日常を返して下さいっ!
あ あなたは
こうして女性をダマして―
人の日常を壊して仕事に集中できないし
と とにかくひどいと思いますっ!

また
メイクさせて
ほしい——
いいかなっ——

それが――

忘れられないなんて――

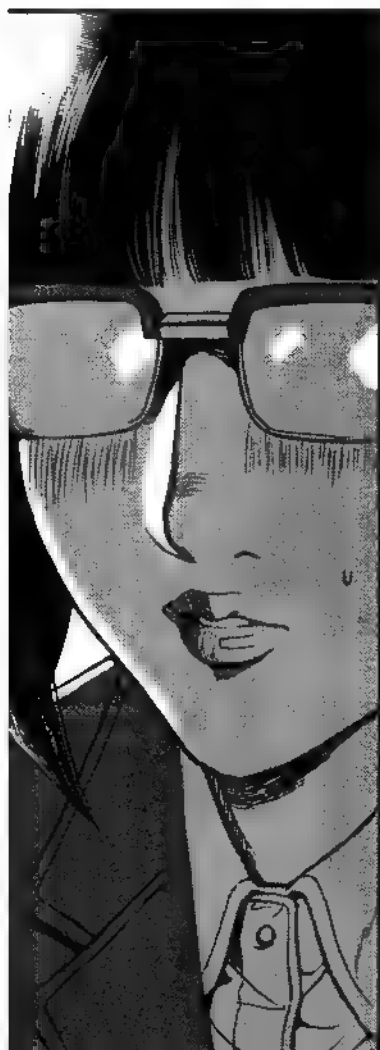
ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

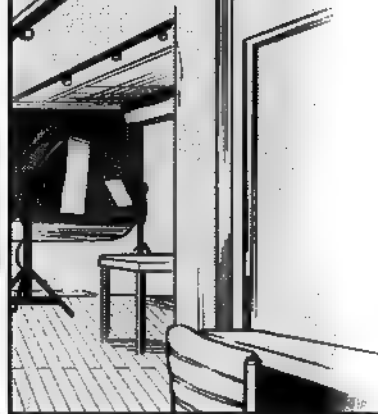
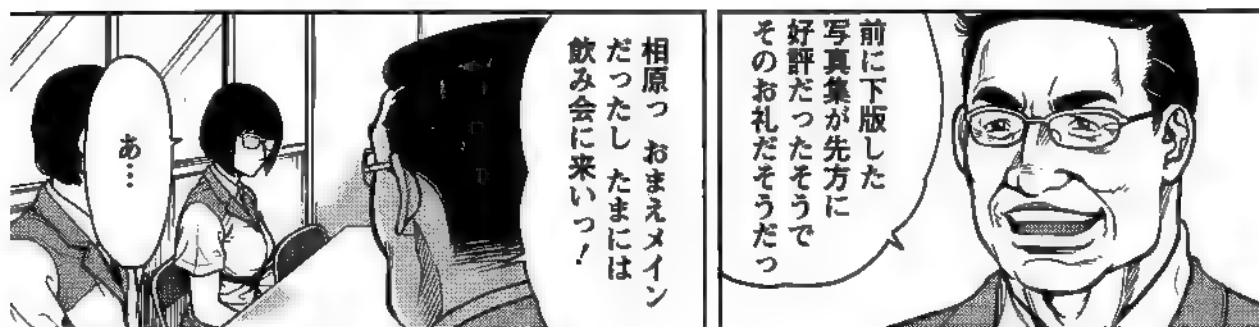
ドクン
ドクン
――この感覚
ドクン
なにかが
解放されてゆく
――そして
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
抑え
きれないほど
――身体が
熱く燃え
あがるの

あなたがいけないの…
はっ…
ぺちゃ。
ちゃぷ
あなたが私にこんな事しなければ……
くにゅっ
——だから
にゅっ
この身体の熱さをなんとかして——
ちゅぶ
ビク
ビク
はぁぁ
ぴちゃっ
はひっ

くぷ…
はひっ
ぴくん
イヤっ あっ
やっと素直に言ってくれたねっ
じゅるるっ
ぴちゃ
じゅぷ
軽い気持ちで声をかけたんじゃない
じゅぷ
モデルとしても女性としても魅力を感じたんだっ
ぴちゃ

そのせいで
別の私が騒ぎ出した――
ザブサッちゅっ
こわいの――
ぐむっ
はふ
んぐっ
別の私が
こわくてたまら
ないのっ――
くちゅっ
にゅぷ
君は
ガマン
しすぎたんだよ

くちゅ
くんっ
こわがる
事はない
あっ
はっ
今の自分に
正直に
じゅぷっ
ずくん
君は
僕が想像している
よりもっと素敵な
女性だっ
はあっ
ずちゅっ
じゅぷっ
じゅぷっ
はあ
もっと
自信を持たなきゃ
もったいないだろっ
ぴちゅ
ぐぷっ
じゅぷっ
はあっ

もっと君を知りたいっ見たい
あっ
ダメ…そんなとこ
フゥー
周りにもその美しさを見せびらかせたい
君はそれだけ魅力があるっ
はっ
はあっ
ああっ
ハッ
パチュッ
パチュッ

パンッ
はっ
私は普通の
生活でいたいのっ
でも
パンッ
もう
身体が
ーー
パンッ
身体が
言う事
きかないいっ
ーー
はあぁぁっ
はあ
びゅるっ

えっ――

◆つづく◆

ちょっと聞いてくれっ

4班のみんなに営業の桐谷くんから飲み会の誘いがあってなっ
ウソっ！
キャッ♡桐谷さんから!?

前に下版した写真集が先方に好評だったそうでそのお礼だそうだっ
相原っ おまえメインだったし たまには飲み会に来いっ！
あ…

その日の翌日朝早いのでちょっと…

おいおい営業もおまえの技術に感謝してるんだぞっ！
そうだよ相原さぁ～んっ桐谷さんの顔たててあげなきゃっ！

せっかく席つくってくれたのに～～普通断れないよぉ～～っ
桐谷さんと飲めるなんて逃がす訳にはいかなぁ～いっ

おまえら
逆ナンすんじゃねえぞ
ハハハッ

え〜〜〜っ

しません〜〜〜っ

するけど

二つの顔を
持つ女……

いつもなら
絶対参加しない
のに——
別の私が…

なにか
ざわめき
はじめてる
——

OLピンキーライフ

O-L Pinky Life

第3話

たべ・こーじ

PRESENTED BY TABE KOJI

本当 みなさんのおかげですっ

ささやかですが楽しんで下さいっ

それでは――

相原さんっ ありがとうございましたっ

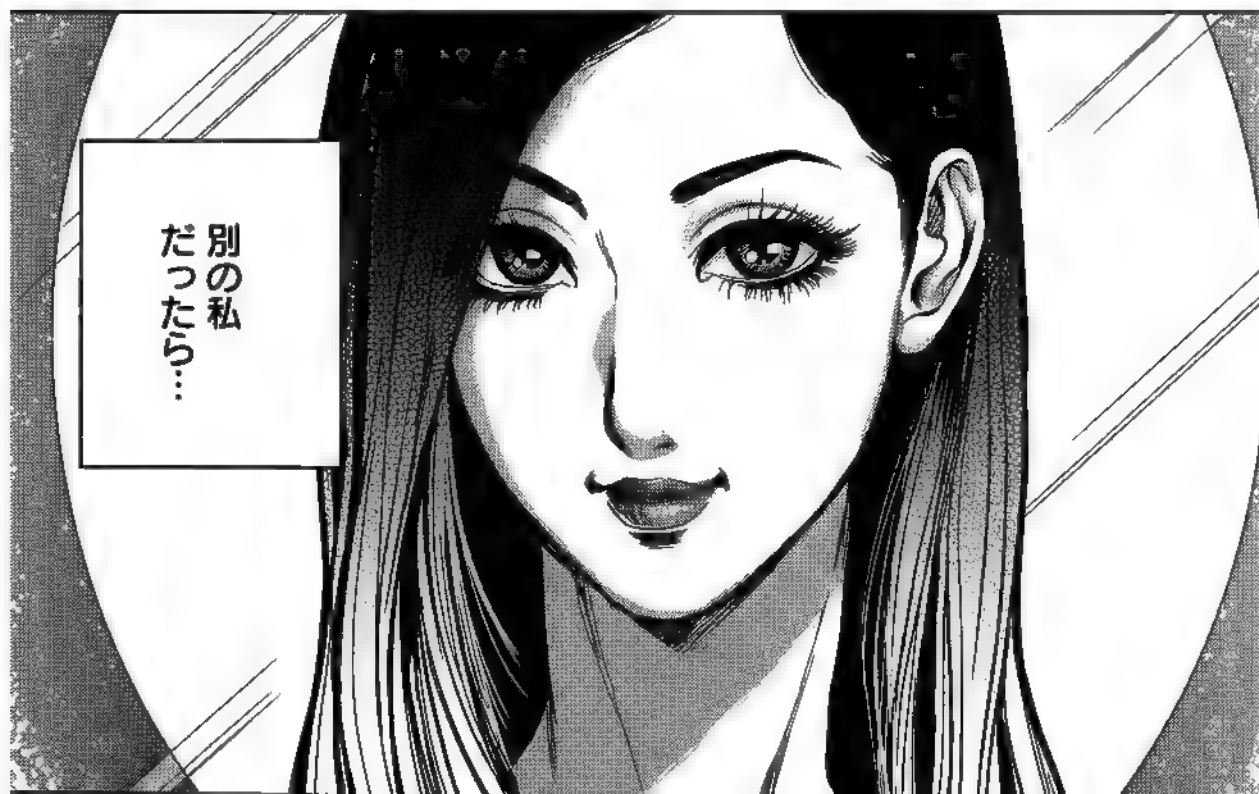
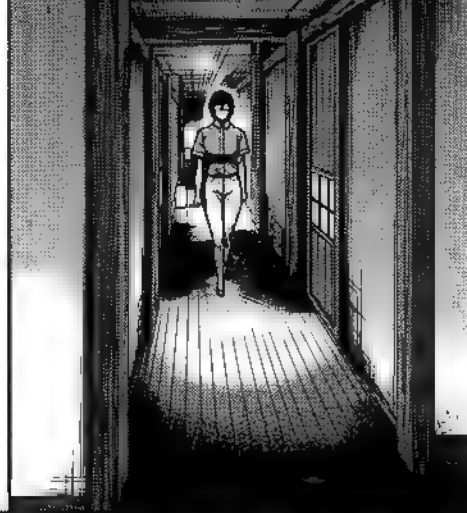
ドキ…

いえ…仕事ですから……

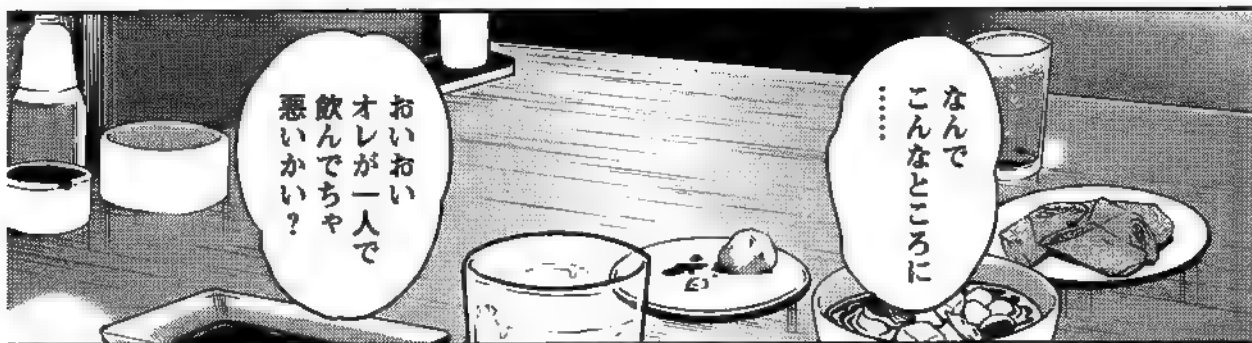
特に相原さんの色調整が素晴らしくて先方も大喜びなんですっ！

私は桐谷さんを意識している……

これは恋愛感情？それとも——

別の私
だったら…

ねえ〜
桐谷さぁ〜ん♡
二人で
抜け出しません？
い いや
それはちょっと
……
だってぇ
私 桐谷さんと
二人っきりに
なりたいの…
ウチの課が用意した
席なんで 今は
無理ですってっ
やだやだぁ
二人になりたい〜っ♡
桐谷さぁ〜ん♡
じ じゃあ
終わったら二人で
飲みましょっ
ねっ！
本当にっ!?
絶対だからねっ♡
きゃっ♡

ゆきえちゃんっ！
！！

こっち
こっちっ!!
よっ！
あ あなた？
ど どうして——

なんで
こんなところに
……
おいおい
オレが一人で
飲んでちゃ
悪いかい？

実はさっ
ゆきえちゃんが
心配でね～っ
明日
温泉だろ？
……
あの——

大丈夫だよ
キミの生活まで
ふみ込む気は
ないからっ

でもショック
だなぁ～ ゆきえちゃんに
好きな男がいたなんて
ドキッ…

でも増々惹かれるなぁ 好きな男を同僚の女に取られて嫉妬してる君も
素敵だよ
てっきりそういう事に興味ないかと思ってた
ぐっ
て 適当な事言わないで下さいっ!!
わ 私はそんな事 興味もありませんし 営業の方はただの──
ただの仕事上の方でしかありませんっ!! だだから──

同僚の女に
取られる前に
君が取って
しまえばいい

す…

そ
そんな…事

場所なんて
関係ない
今すぐに――

君の美しさと
オレのメイクなら
放っておく男なんて
――

いないさっ
――

は…

ドクン
ドクン

ふー。
ガチャ
キィ……
えっ!?
あの
するー…

き君
ここは男子
トイレ…
ドクン
ドクン
ああの
ちょっと
す…
ドクン
は…
んっ…
ずく…
はっ
くちゅ
ちゅぷ

にゅっ
くんっ
ぴくっ
んはぉ
びく
くっ
ぷるっ
くっ
あ…
ちゅぷ
あふっ
はぉ
はぁぁ
はふ
ぐっ
んっ
はぁぁ
あっ
はぁ

ぎゅっ
ムニュ
はふぅ
びくんっ
くはおぉ
はっ
わ　わからない……
ちゅぶぶっ
ちゅる
こ　こんな…
ぐにゅっ
ぴくっ
くふ
おあんっ
君を一目見て
――なぜか
魅了されてるっ
――君は一体
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
くちゅ
あひゃ
びくんっ
ぐにっ
ちゅぷ
くちゅ
びくん

あふ…
ちゅぷ
ちゅる
おいしい……

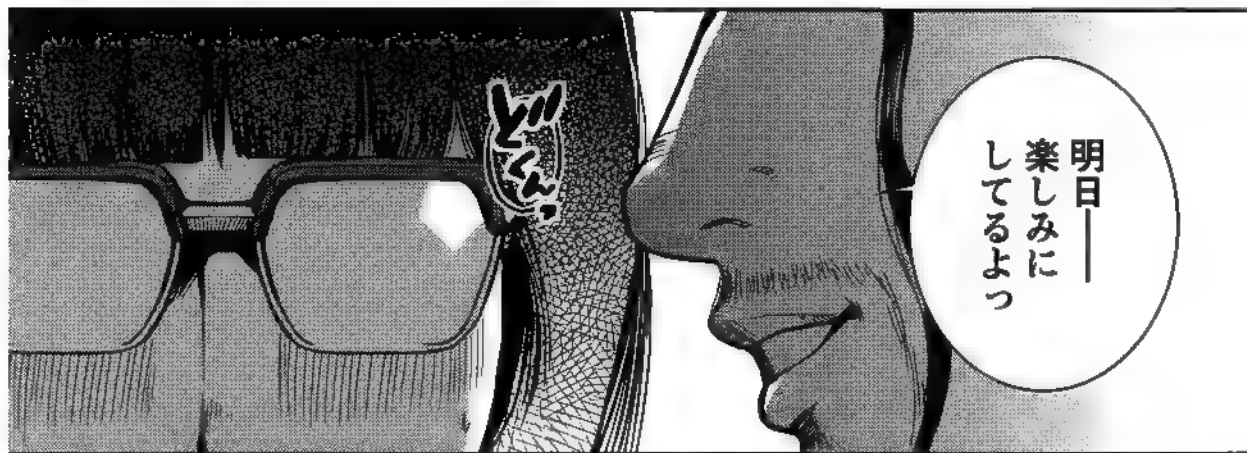
れろ
あなたも私を愛してほしい——
今だけでいいの——
ぢゅちゅ
はぁ
じゅぷっ
じゅっ
じゅっ

だから──今は
なにも聞か
ないでっ──
ぢゅぷ
ぢゅぷっ
ぢゅる
くちゅ
にゅぷ
あふっ
じゅる
ぢゅぢゅ
止まらない─
別の私が
──
んぷっ
もっと
もっと
欲しいっ
はっ
私の中に
もっと──
んくっ
ぢゅる
ぢゅっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽぽ
んっ
ぷゆ
ぬぷっ

あ〜ふ・・・
くちゅ
くにっ
ちゅぷ
んおぉおふ
はぁ
ぷるるる
びくびく
ぐぷぷっ
あなたに
私の身体の熱を
静めて欲しいの
くにゅん
はうぅ
それだけ―
それだけで
いいの
はひぃっ
ズッ
ズリュ
ズチャッ
あむぷ
くちゅ
ずちゅ
んぷ
ぴちゅ

パンッ
パンッ
あひっ
はひっ
はっ
ぢゅ
アァ
ズプッ
ズチャ
彼の熱さが
身体中に
気持ち
いい
こんなに
んっあ
あふ
ぶるん
じゅぷっ
じゅぷっ
アァン
熱い——
全身が
とろけそうっ
ズプッ
ズプッ

ああん
はぉ
あぐぅ
くはっ
感じる
奥があぁっ
と とけちゃうぅぅっ
はぉぉっ
はっ うくっ
イキそう
だっ
はぉ
はっ
はっ
んぉふ
出してぇ
私の中に
出してぇぇっ!!

いっぱい
いっぱい
出してえぇっ！
びくん
びくっ
あおん
あっ
ぐぐっ
営業課長に
よろしくなっ！
了解ですっ
今日はありがとう
ございましたっ！
えっ？
ダメになったって
……
ゴ ゴメンね
月刊誌引っかかった
みたいで…
そんなぁ～

私は――
別の私に悦びを
感じ始めて
きている
――

次回は6/27発売号に掲載!!

◆つづく◆

週末の温泉旅行――
はぁ…
見せてごらんっ
ぷる
すっ…
もん
私はいつになく気持ちが高ぶっていた――

もう濡らしちゃってるのかい？
そ　そんな事……
は…
身体がいつも以上にもとめてる……
普段は地味眼鏡のOLが……
OLピンキーライフ
OL Pinky Life
第4話
たべ・こーじ
PRESENTED BY TABE Koji

ぴくっ
ダメっ――
はっ
くちゅ
あふ
ゆきえちゃんとの
旅行 待ち遠し
かったよっ
くにゅ
ぴくん
ぴくんっ
くにゅ
くり
あア
ぴくく
ぴくん
ダメ…
それは…
今日はメイク
しなくても
よかったのに…
はあっっ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

メイク無しでも良かった
にちゃあ
でもまだまだなの…
むん
ぷる
かくしちゃダメだよっ ゆきえちゃんのいやらしいアソコ見せてっ！
だって…恥ずかしい…
ぷる
はぁ
あふ
大丈夫だってっ！ほら見せてっ！
ほらっ！
くっ…
はあぁ

よおく見えるよ
ゆきえちゃんのいやらしい
マ○コっ
ぷる
うぐ・・
ぴく
はふ・・
ひく
ひく
にちゃあ

ゆきえちゃんっ
ほらっ おじさんが
見てるよっ！
ビクッ
いやあっ
足とじちゃ
ダメだよっ

むしろ
見せつけて
あげなっ

そ……
そんな事
はぁ
はっ

くちゃあ
は・・・
くぷ
恥ずかしいはずなのに——なのに
この快感は——
はふ
くにゅ
あふ
ピクッ
見られて興奮してる——
ずず…
ぴく
ぢゅぷっ
はあっ
はひっ
ぴちゅ
ああん
グチュ
はうっ
ぢゅぷっ
グチュ

イクッ イッちゃう
はおァ あっ
ダメ イっちゃう ダメえ
はあああんっ
くはァあ
はおァァ
ぴくっ
ビクククク
ぴくん
びゅく
びゅる
ちゅぷ
ちゅぢゅ
ちゅぷ
ぴちゅ
びくん

外ってのも
刺激的だろ?
なにか
解放された気分
にならないかい?

ぴくっ
あふ
くんっ
ガマンしなくていいんだよ
はあ…
ごく…
は…
さあ　おいでっ　欲しかったんだろ……
ゆきえちゃんの好きなようにしてごらん
ぷる
な　なめたい……
はあぁ
は…
なめたいの…　お　おち○ちん……

んく
ちゅぷ
んっ
んんふ
ずっと
欲しかったんだね
おいしいかい？
はぁ
おいしい
おち○ちん
……
欲しかったの
……──
ちゅぷっ
はふ
はぅ

気持ちいいよ――
ジュプ
じゅぷ
ぐぷ
ぐぷ
はっ
はあ
あふっ
うくっ
ちゅぷ
れろ
れろ
ぷる
ぐむ
ごぷ
さあ 今度はオレの番だ……
はっ
あん…
じゅっ
ちゅ
うく…

はぁァ
ちゅる
ちゃぷ
あふ
はひっ
びくん
ぴちゃ
ぐっ
はぁ
ぴちゃ
こういう
変態っぽいの
好きだろ？
フフ――
ちゅる
はぁァ
ダ ダメぇ
そんなとこ――
汗で――
あぁん

ミーン
ミーン
ジジジ
ミーン
はっ
はっ
車の中で一人でイったのに もう欲しくなったのかい？
はう♥
欲しかったの…
あふ
はア♥
だからもっとー
もっと

はあん
ゆきえちゃんのわがままでいやらしい姿――
もっと見たいんだっ!
いやあダメえっ
はっ
いやらしい音だねゆきえちゃん――
ああん
はあ

いやらしい音じゃ
誰か来ちゃうよっ
はあ
いやぁ
はァァ
ほうら
もっとだよっ！
ダメぇ～
はっ
はあ
あァ
あはァン
はあ

誰かに
見られても
いいじゃないか
さっきは
人に見られて
イっちゃったのにかい？
フフ
いやああ
かざってない
君は本当に
素敵だよ
ゆきえちゃん

はぁ
くちゅ
ちゅぷ
今日は
本能のままの
君をいっぱい
見せてくれっ
ダメぇ
イっちゃう
イっちゃう
あァァ
はぁ
はっ
はっ
オレも
イキそうだっ
ゆきえちゃん
パンッ
パンッ
ぱちゅっ
はぁ
はぁ
ぐぷっ
ぐちゅ
ぐぷっ
あぁ イクぅぅ
はっ
イクよっ
ゆきえちゃん
はぁ
はぁ
あァ

イクーッ
あふぅっんんんっ
あっ
あっ
びくん
ぴゅる
はぁんっ
びゅる
ああーっ
あぁっ
ああっ
ああーっ

着いたよ
──
今日は
朝まで──
ぎゅ…
楽しもう
気持ちの高揚と同時に
本当の自分が見つかる
──
そんな気がした
◆つづく◆

ゴク…
若い娘はエエのおぉ～っ
はぁん
ぴくん
は…恥ずかしい……
あふ♡
なんとうまそうなマ○コじゃあ～っ
はふ
くぷぅ
ぢゅびびっ
くはぁ♡
たっぷり味わってやるわいっフフフ
くり
ぎゅるっ
ぢゅる
はひっ♡
はふっ

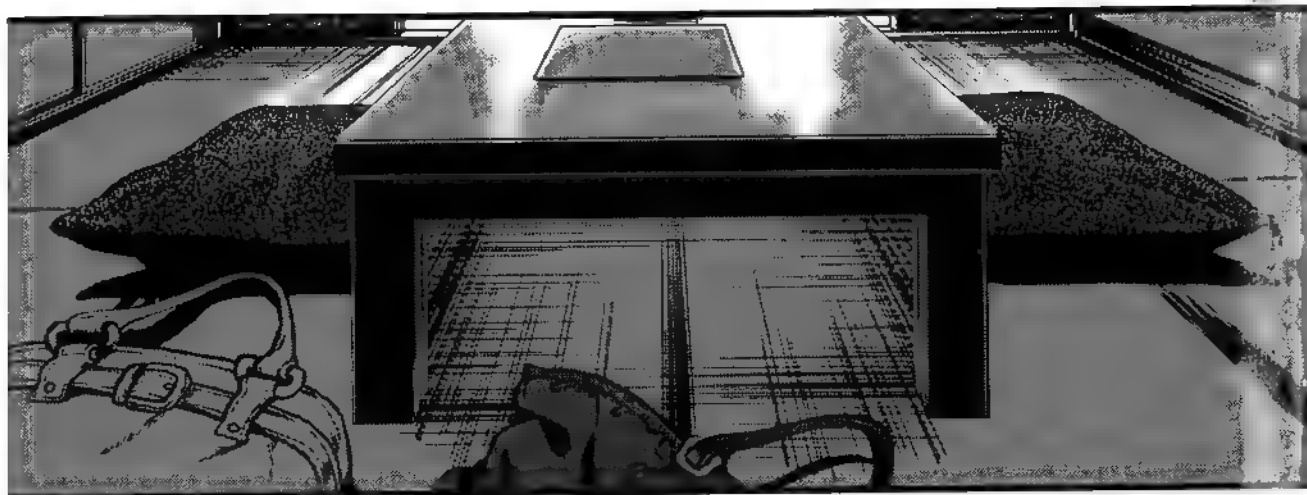
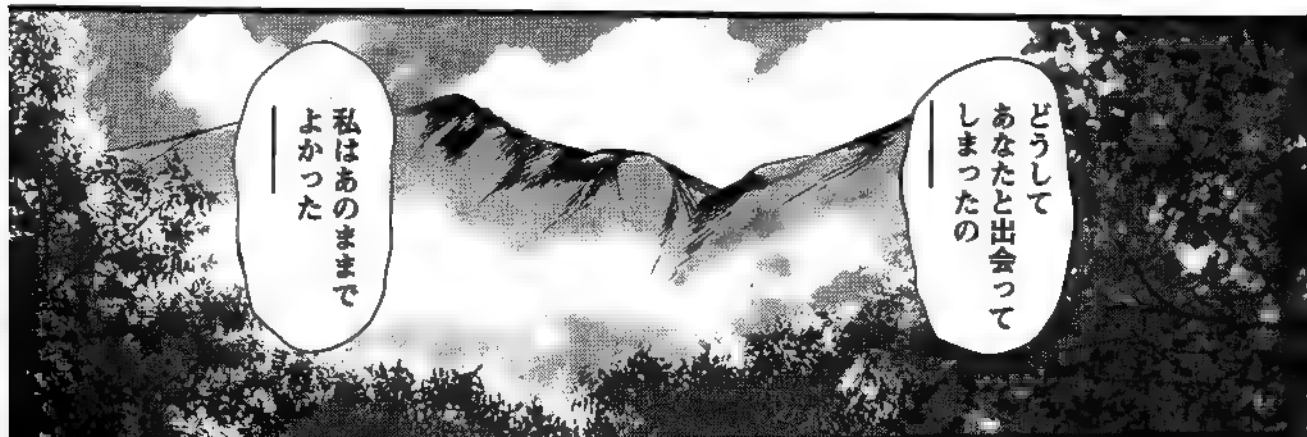
シュコ
シュコ
んぐっ
ぴく
んん♡
じゅっ
じゅぷ
こんな極上の女と遊べるとは思わんかったわいっ!
ぷ
んぷっ♡
彼氏さん 君もなかなかの変態じゃなっ! フフフ
たっぷり可愛がって下さい
彼女の為なんですから—
ぢゅぷっ
ぢゅっ
ぢゅっ
んっ♡
んっ♡
ズプッ

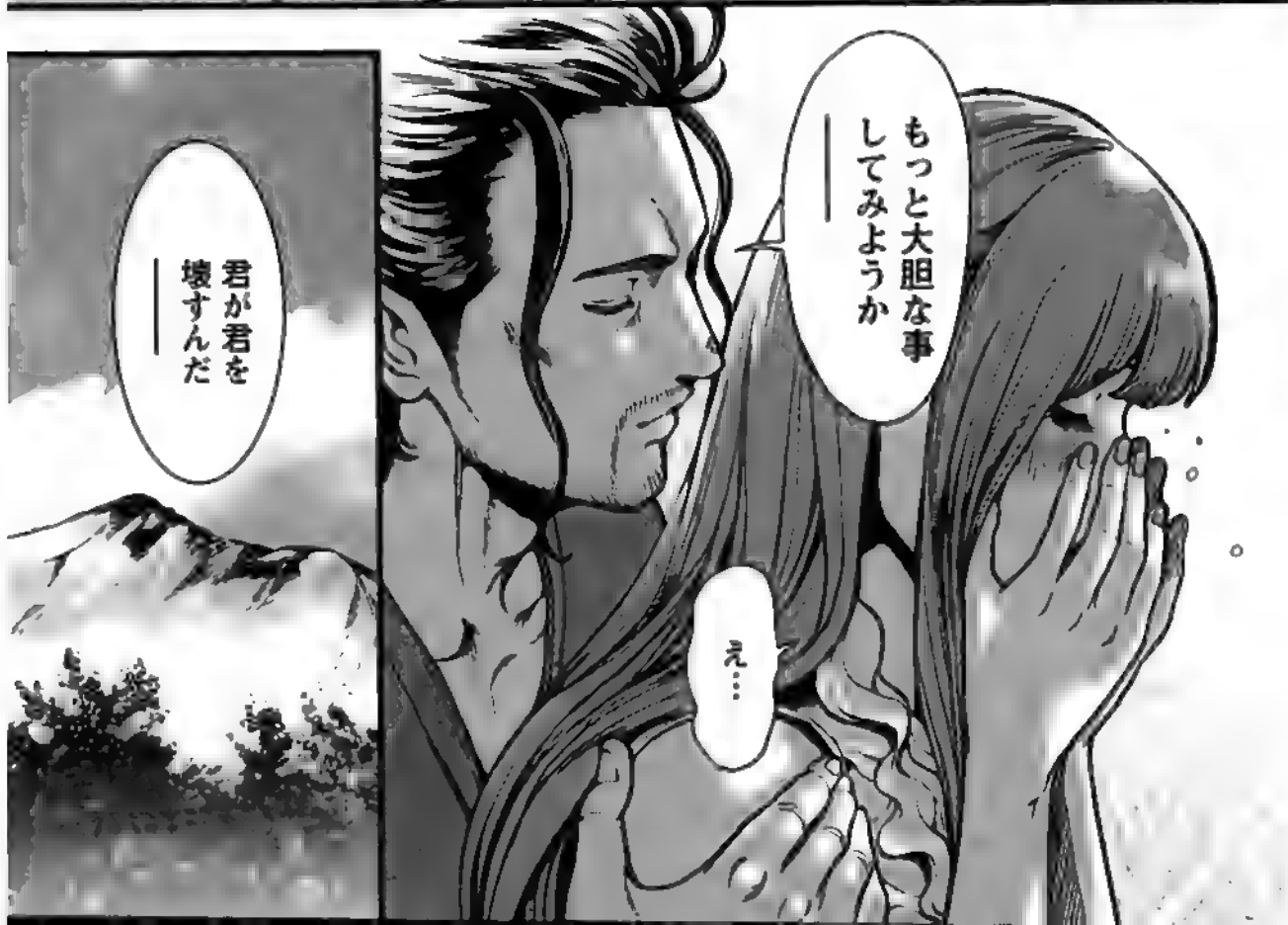
はふ
フフ
お言葉に甘えさせて
もらおうかねっ
パンッ
パンッ
ぴくっ
はあっ♡
パンッ
くちゅ
ちゅぷ
どことんまで
堕ちていく
――
今の私を
もっと
壊して
――
はあっ♡
パンッ
グチャ
パンッ
パンッ

二つの顔を持つ女の物語
OLピンキーライフ
OL Pinky life
〝自分探し〟の大乱交!!!
第5話
たべ・こーじ
PRESENTED BY TABE Koji

双葉旅館
は…

カチ…
ウイッグ…
外すよ

い いや……

まだ…
恐いのかい？
別の君は君って事を——
だめ…

どうして
あなたと出会って
しまったの——
私はあのままで
よかった——

――こうなった以上
前を見ていくしかないって――わかってるのに
――ごめんなさい
でもどうしていいのかわからないの――
――もっと大胆な事してみようか
君が君を壊すんだ――
え…

コンパニオンでも呼ぼうかねっ
ぬふっ
パァ〜っといこうやっ
な
なんとぉっ!!
彼女の為ですから
ちょうどいい皆さんよろしかったら
ぼくの彼女のお相手をして下さい遠慮はいりません

仕方あるまいねえ
君の為というなら
フフフ
ぴくっ
はぁ
はっ♡
あふぅ〜っ
若い娘の肌じゃ〜っ♡
たまらんのぉ〜♡
にゅ
ゴク…
くちゅ
ちゃぷ…
はあ♡
ガマン
できん〜っ
ぴちゃ
ちゅぷっ

どれ
ご開帳といきます
かなあ〜
はぁぁっ
はみっ
ぢゅぷ
あふ♡
は 恥ずかしい
……
だめ…
くちゅ
はぁ♡
むむ?
奥からあふれる
汁はなにかなぁ?
いやぁァ♡
はあっ
ぢゅる
はぁ♡
ぴちゃっ
うまいっ
この娘のマ○コは
また格別っ
ぺちゃっ

なんと
しまる
マ○コじゃっ♡
あふ～
は♡
ほうれ
しっかり
くわえんかっ
オマ○コ
よお～く吸い
つきよるわいっ！
んぷぅっ
くぷぷっ
こうして
犯されてるゆきえちゃんも
また美しいっ

今の私を壊して下さい――
はぁっ
もっとー
もっと――
ちゅるっ
ちゅぷ

君もけしからんねえ こんなカワイイ娘を 調教しよってて っ!
はは。
遠慮せず 楽しんで下さい
くんっ
ちゅぷ
んぷ♡
ちょうど ケツマ○コを 試したいと思った ところよおっー
ぐぷっ
ぐぐ
ワシにも そのマ○コに 入れさせてくれえっ
にゅる
ずぶっ
あぐっ ダメェえ♡
ぬおぉんっ し しまるうう〜っ
ぐぷっ
じゅっ

なんと素晴らしい光景じゃあぁ〜くっ♡
早くぅっ
私のマ○コに欲しいのぉ♡
はぁんっ
フフそんなに欲しいかねぇ？
ぬんっ
はすいってるぅっ♡

ぬおオ〜っ この吸いつきいっ♡
パンパン
くにゅ
すッごいィ いっぱい…♡
ハアぁ
このおっぱいも 吸いつくような 肌じゃぞっ!
にゅる
あァ
はぁあ
スゴく かたい…♡
むにっ
ぐっ

はっ
パンッ
パンッ
どうだい？
愛されてる気分
壊れて
いいんだよっ
はぁっ
壊れる――
ハッ
ズッ
イクッッ
ビクッ
でてるぅぅ♥
ドクドク
ぬぅっ
見知らぬ
男達に
犯され

どうれ
こちらも
中にブチまけ
たるぞぉ～っ
ズンッ
はぁ
スゴイッ
あぁあ♥
気持ち
イイィあ♥
あっ
ぐぢゅ
ずぷっ
ずぷっ
ぬぶっ
パチュ
ずぶっ
でるっ
パンッ
パンッ
パン
パン
パン
ズプッ
だしてぇ
いっぱい
イクッ
イクッ

くはアぁ
あァ♡
びゅる
堕ちた
そして壊した
これでよかった
ぴく
ぷりッ

そう感じた——

す…
私のすべてを
抱いて下さい
——
◆つづく◆